



よしだつうしん

# 吉田通信

第44号  
【2018年5月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

## ◆新入社員に優先してやってもらうこと◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第44号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、先月、吉運堂に新入社員として上越出身の男性が1名入社いたしました。入社式では、毎年恒例となっておりますが、私から「学生と社会人の違い」について、「お金」と「学び」という側面からまたお伝えしました。

まず「お金」について。学生は親から養育費というかたちでもらっています。ただ、社会人になると、それは親からではなく、会社からでもなく、目の前のお客様からいただくことになります。

次に「学び」について。学生時代は先生から学びます。社会人は仕事のやり方を先生ではなく、先輩社員・上司から学ぶこととなりますが、その先輩社員・上司が誰から学んだかと言えば、元をたどれば社長であり、創業者であり、そして、最後に行き着くのはやっぱりお客様なのです。もちろん、日常の業務の中でもお客様から学ばせていただく場面は多々あります。

お金をいただきながら、また、仕事のやり方まで教えていただける。社会人になったら、そんなお客様のことを本当に大事にしましょうと伝えました。

新入社員の彼には、マナー研修を外部で1日受けてもらった後は、会社がどんなことをしているか知ってもらうため、本社の工場や店頭など様々な部署を2カ月ほどで回り、先輩社員の手伝いをしたり、環境整備をいっしょにやってもらったりしているのですが、実は、お客様へのお仏壇の納品があるときだけは、その納品のお手伝いを優先してもらっています。

先輩社員といっしょにお客様のところに納品に伺い、お客様からお金をいただく場面、お客様から感謝される場面を間近に見てもらうことで、私が入社式で伝えた「お客様を大事にする」ということを、肌で感じ取ってもらえると思っているからです。

社会人として、ここが一番大切な部分だと思っていますので、これからも、この形で新入社員の教育等はやっていこうと思っています。



## ◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただき、どうもありがとうございます。さて、先月号で「県外の葬儀会社さんに社内を見てもらう」とご紹介いたしました。先日5社21名の方々がご来社されました。「以前の写真を見ると苦労して整理整頓されたことがわかります」とか「一般のお客様に清潔な工場を見てもらうとファンになるかも」とのご提案や「発注先や発注ロットを表示したほうが良い」など改善のお言葉をいただきました。環境整備に終わりはありません。がんばります。吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

### 【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）  
生年月日：昭和40年8月21日（O型）  
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）  
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋  
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）  
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史